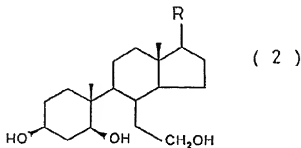
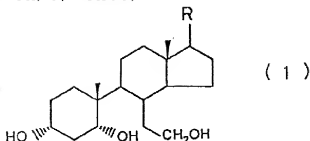


【特許請求の範囲】

【請求項1】 次式(1)(2)で表わされる $3\alpha\text{-O}$
H、 $5\alpha\text{-OH}$ もしくは $3\beta\text{-OH}$ 、 $5\beta\text{-OH}$ の5、*

*6-セコステロール誘導体。

【化1】



(Rは炭化水素基を示す)

【請求項2】 請求項1のステロール誘導体またはその薬理的に許容しうる塩を含有することを特徴とする血清脂質低下剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、セコステロール誘導体に関するものである。さらに詳しくは、この発明は、血清脂質低下剤等として有用な、特有な立体構造を有する5、6-セコステロール誘導体に関するものである。

【0002】

【従来の技術とその課題】従来より、動脈硬化を誘発する高脂血症の治療薬として種々の血清脂質低下剤が開発され、実用化されてきている。しかしながら、従来の血清脂質低下剤は脂質代謝の改善作用が十分でなく、またその副作用も無視しえないものであった。たとえば、一般に広く使用されている血清脂質低下剤としてクロフィプレートが知られているが、このクロフィプレートは血清コレステロールをある程度低下させることはできるものの中性脂肪を低下させることができず、その副作用も問題となる等の欠点があり、結局は血清脂質低下剤として実用的に満足できるものではなかった。実際、その使用にあたっては、血清脂質の変化に注意しながら長期間服用することを余儀なくされていた。

【0003】このため、これらの欠点を改善することの

できる新しい薬剤の実現が強く望まれていた。このような状況において、本出願人は、先に、新しい血清脂質低下剤として有用な、5、6-セコステロール誘導体を開発し、これを提案した(特願昭63-118912号、特開平1-290624号)。この化合物は、血清コレステロールの低下活性とともに中性脂肪の低下活性の良好なもので、注目されるべきものであった。

【0004】この新しい5、6-セコステロール誘導体についてさらに検討を進めてきたところ、すでに提案されているものとはその立体構造が別異であって、しかもその血清脂質低下活性等の薬理作用についても注目される新規な物質が合成され、実際に使用され得る状況となった。そこでこの発明は、以上の通りの従来の血清脂質低下剤の欠点を解消し、かつ、5、6-セコステロール誘導体に関する技術をさらに発展させるためになされたものであり、特異的な立体構造を有する新規活性化化合物を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明は、上記の課題を解決するものとして、次式(1)(2)で表わされる $3\alpha\text{-OH}$ 、 $5\alpha\text{-OH}$ もしくは $3\beta\text{-OH}$ 、 $5\beta\text{-OH}$ の5、6-セコステロール誘導体を提供する。

【0006】

【化2】

